

## 第9回井上靖記念文化賞受賞者の決定について

第9回井上靖記念文化賞選考委員会を2月28日（土）に東京都内において開催し、次のとおり受賞者が決定しました。

### 1 井上靖記念文化賞について

文学、美術、音楽及び歴史等の文化活動において優れた作品や活動実績を有し、また、その活動を通じて継続的に地域や社会への貢献を行っていて、これからの更なる飛躍が期待される個人又は団体を対象としています。

### 2 主催

一般財団法人井上靖記念文化財団

井上靖記念事業実行委員会（旭川市教育委員会、北海道新聞旭川支社、NPO法人旭川文学資料友の会）

### 3 受賞者（※主な経歴は別紙）

井上靖記念文化賞（記念品及び賞金100万円）

(受賞者名)	(職業)	(贈賞の理由)
 <p>ふじはら たつし 藤原 辰史 ・昭和51年12月2日（49歳） ・京都府京都市 在住</p> <p>(撮影：伴 智一)</p>	歴史学者	生きることの基本には食べることがある。しかし歴史研究の中で食や農が軽んじられてきたことは否めない。藤原辰史氏はその歴史研究、社会経済研究の根に食と農を置く。戦争、政治、ナチズム、環境経済、それらを「食べること」の原基として考察することはまさに現代的課題である。藤原氏の業績はそれに応えている。
<b>【受賞者の言葉】</b> 井上靖記念文化賞。旭川が生地である私にとって格別の響きを持ちます。学術賞ではなく文化賞だというのがまたうれしいです。審査員のみなさまをはじめ関係者各位に心からお礼を申し上げます。故郷旭川を愛した亡き母に捧げたいと思います。		

### 4 選考委員（5名）

川村 湊（文芸評論家・法政大学名誉教授）

栗原 小巻（女優・日本中国文化交流協会副会長）

建畠 哲（美術評論家・詩人）

高橋 源一郎（作家）

元井 麻里子（北海道新聞社文化部長）

### 5 贈呈式（予定）

(1) 日 時 令和8年5月23日（土）午後4時から

(2) 会 場 アートホテル旭川

(3) 内 容 賞の贈呈、受賞記念講演会等

(4) 入場料 無料

(5) 定員 100名

6 (参考) これまでの受賞者

第1回(平成28年度):菅野 昭正(世田谷文学館長)、小田 豊(六花亭製菓(株)元代表取締役社長) ※本賞2名

第2回(平成29年度):芳賀 徹(国際日本文化研究センター名誉教授)、特別賞:織田 憲嗣(東海大学名誉教授)

第3回(平成30年度):大城 立裕(作家)、特別賞:伊藤 一彦(歌人・若山牧水記念文学館長)

第4回(令和元年度):宮本 輝(作家)、特別賞:岡野 弘彦(歌人・國學院大學名誉教授)

第5回(令和3年度):熊川 哲也(バレエダンサー/Kバレエカンパニー芸術監督)、特別賞:藤原 良雄((株)藤原書店代表取締役社長)

第6回(令和4年度):吉増 剛造(詩人)、特別賞:山本 ひろ子(和光大学名誉教授/私塾「成城寺小屋講座」代表)

第7回(令和5年度):石内 都(写真家)、特別賞:安彦 良和(漫画家)

第8回(令和6年度):中川 裕(言語学者)、特別賞:斎藤 真理子(翻訳家)

【受賞者の業績等】

井上靖記念文化賞 藤原 辰史 氏

1 活動の概要

歴史学者。京都大学人文科学研究所教授。

1976年北海道旭川市生まれ。島根県横田町（現奥出雲町）出身。京都大学人間・環境学研究科修士課程修了。同研究科博士課程中途退学。

同大学人文科学研究所助手、東京大学農学生命科学研究科講師を経て、2025年より京都大学人文科学研究所教授。

専門分野は農業史。これまで主として人間と人間の権力関係という面で論じられてきた本分野に対し、環境史の手法を取り入れ、食と食をめぐるさまざまな要素との関係性を論じることで、農業史を再構築することを試みている。例えば、農業とナチス、農業と戦争、稲と大東亜共栄圏などについてこれまで論じ、河合隼雄学芸賞(2013年)やサントリー学芸賞(2019年)を受賞するなど、高い評価を受けている。

2 主な受賞歴

2006年 日本ドイツ学会奨励賞 (『ナチス・ドイツの有機農業』)

2013年 河合隼雄学芸賞 (『ナチスのキッチン』)

2019年 辻静雄食文化賞 (『給食の歴史』)

サントリー学芸賞 (社会・風俗部門)

(『分解の哲学 — 腐敗と発酵をめぐる思考』)

日本学術振興会賞